

## 名称の選定方法について

### 1. 選定方法 ※募集要項（抜粋）

#### 5. 選定方法

新みやしろ郷土かるた制作委員会により採用作品を含めた入選作品（3作品程度）を選定します。

#### 【選定基準】

- 初代の「みやしろ郷土かるた」と区別できるもの
- 新たな郷土かるたにふさわしく、子供たちをはじめ幅広い世代の人に親しみやすいもの

### 2. 名称応募数

1, 142件（642名）

### 3. 選定方法（案1）

（1）応募作品のうち3重複以上の作品を対象に選定を行う。

→対象：49作品（応募数335件）

（2）各委員がすべての対象作品について3段階評価（採点）を行う。【1次選定】

→提出期限：9月15日（木）

FAX：0480-34-4152

Eメール：[gakusyu@town.miyashiro.saitama.jp](mailto:gakusyu@town.miyashiro.saitama.jp)

郵送：ご希望の方には、封筒をお渡しします。

※電話での対応も可

（3）全委員の採点結果をもとに採用作品を決定。【2次選定】

→上位10作品程度を最終候補として選定

→9月20日（火）第8回会議で決定

#### 【懸案（確認事項）】

※上記案については、「重複数が多い＝支持の高い名称」という考え方で、選定対象を3重複以上に絞り込んだものだが、この場合、重複のない（少ない）作品を自動的に切り落としてしまうことになる。

※これを完全に回避するためには、全応募作品を対象に評価（採点）を行う必要が生じるが、時間的な制約（効率）を考慮し、折衷案（案2）として次の方法とすることも考えられる。

<案2>上記案（3重複以上の作品を対象とした採点）に加え、それ以外のすべての作品一覧の中から、各委員が必要と判断した作品を2次選定の対象に追加する。

「参考1」 第2回会議（6/14）の会議記録 ※抜粋

委員	新旧それぞれのかるたが活きる名称が良い。初代かるたをおろそかにすることなく、初代かるたも大切にしながら、新かるたの名称を決めたい。
委員	初代かるたの名称を尊重して、あまり変えない方が良いのでは。
委員	同じ名称ではだめなのか。目的は同じなのだから、名称を変える必要はないと思う。あるいは、現在の名称に「新編」と付けるという方法もある。
委員	初代とは全く違ったものでも良いのではないか。子供たちの発想の中から名称を決めたい。読み句や絵札と同様に、子供たちから公募する方法が良いと思う。夏休みの宿題で取り組んでもらっても良いのでは。
事務局	学校側の負担にも考慮する必要がある。既に、読み句の募集で負担をかけているので、立て続けに、更なる負担をかけることはできるだけ避けたい。
委員	最低限、「みやしろ郷土かるた」という名称は使いたい。それに、一言つける程度の名称が良いのではないか。他の市町を見ても、概ね「郷土」「ふるさと」「〇〇町」を付けるという名称のパターンが多いようだ。
委員	私は、「新みやしろ郷土かるた」で良いと思う。
委員	せっかく全面改定するのだから、名称も新しい雰囲気を出したい。今どきのアイデア、表現を取り入れて、インパクトを出したい。今の名称も残しつつ、新しいものにする方が良いと思う。
委員	現行のかるたは、教育委員会によってあらかじめ名称が決められていたが、20年間使われているうちに愛着を持たれるようになった。子供たちは、名称へのこだわりはあまりない。競技に影響がないので。県のかるたも、初代はシンプルに「さいたま郷土かるた」という名前だった。そのため、二代目（彩の国21世紀郷土かるた）が出た当初は、呼びにくく感じたが、今はそれで定着している。今回は、制作委員会の案を示して、小中学生限定のパブリックコメントや、小中学生から募集する方法などでも良いと思う。
委員	かるたを使うのは、主に子供たちであり、そう考えると、子供たちから意見を聞く方法が良いと思う。たとえば、投票箱に投票してもらおう方法はどうか。
委員	7月にかるた大会が行われる。150名ほどの小学生が参加する。その子供たちは、かるたに特に強い思いを持っていると思う。その子供たちを対象に、名称を公募すれば良いのでは。
委員	7月のかるた大会出場者を対象に公募することで決定したい。選定方法や景品の設定などは、事務局に一任する。